

世界の恒久平和への願いを込めて

毎年、8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」として、先の大戦で亡くなられた数多くの人々を追悼し、平和を祈念するため、政府主催の全国戦没者追悼式などが行われていま

す。市では、8月15日(水)・正午から市役所玄関前において「印西平和の鐘」を突き、1分間の黙とうをささげます。平和の鐘の音と共に、これまで戦争で亡くなられたみなさんを追悼し、世界の恒久平和を祈念します。黙とうをささげたい人は、ぜひ、当日正午までにお集まりください。

また、被爆地の広島市と長崎市では、毎年、それぞれの原爆死没者の慰霊式と平和祈念式典を行っています。式中で、原爆投下の同時刻に、1分間の黙とうをささげています。

【広島市】… 8月6日(月)・午前8時15分。
【長崎市】… 8月9日(木)・午前11時2分。

非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類の共通の願いである。とりわけ、世界で唯一の核被爆国に生きる我々は、再びこの地球上に「広島」「長崎」の惨禍が繰り返されることのないよう強く望むものである。印西市は、戦後50年目の年に当たり、核兵器がこの地球上から全て廃絶されることを願い、世界の恒久平和を確立するため、ここに「非核平和都市」を宣言する。

平成 7 年 10 月 11 日宣言

前11時2分。

原爆写真パネル展

原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを市民のみなさんに知っていただき、平和への気持ちを育んでいただくため、原爆写真パネルの展示を行います。

原爆の恐ろしさは、人類にとって決して忘れてはならない記憶です。ぜひ、ご覧ください。 図・場左表のとおり。

◎原爆写真パネル展の日程◎

| 展示期間 | 展示会場 |
|-----------------|-------------------|
| 8月1日(水)～15日(水) | 市役所1階ロビー |
| | 中央駅前地域交流館1号館1階ロビー |
| 8月16日(木)～31日(金) | 印旛支所1階ロビー |
| | 本埜支所1階ロビー |

※それぞれの施設の休館日は除きます。

◎非核平和の願いを込めた標語 入賞作品◎

| 氏名 | 学校名 | 作品 | 賞 |
|--------|-------|---------------------|------|
| 塩野谷 隆一 | 木川中学校 | 広げよう みんなでつくる 平和の輪 | 最優秀賞 |
| 佐藤 直哉 | 小林中学校 | 伝えよう あの日の出来事 忘れずに | 優秀賞 |
| 末廣 七海 | 小林中学校 | 必ず来る 核兵器のない 平和な日 | 優秀賞 |
| 黒田 千晴 | 木川中学校 | とどけよう 非核平和への あなたの願い | 優秀賞 |
| 薄井 穂乃香 | 原山中学校 | 核兵器 残る未来に 笑顔なし | 優秀賞 |
| 松浦 志高 | 印西中学校 | 世界から みんなでなくそう 核兵器 | 優秀賞 |

非核平和への願いを込めた標語

次代を担う子どもたちに、平和の大切さやその意味を考えてもらうことを目的に、市内中学校3年生から募集した「非核平和への願いを込めた標語」の入

賞者が決まりました。

市内中学校から188点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞1作品、優秀賞5作品が選ばれました。受賞作品については、原爆写真パネル展で併せて展示いたします。

入賞したみなさんは、上表のとおりです(敬称略)。

印西平和の鐘

印西平和の鐘(写真)は、重要無形文化財保持者(人間国宝)の故香取正彦氏が、父秀真

耕作放棄地を解消しよう

8月は耕作放棄地解消強化月間

耕作放棄地の発生は、食料自給率の向上を阻害するばかりでなく、雑草の繁茂などにより病虫害の発生源や有害鳥獣のすみかになるなど、地域環境に悪影響を与えていることから、耕作放棄地対策は極めて重要な課題です。



▲耕作放棄地の増加は付近の環境にもさまざまな影響を与えます

県では8月を「耕作放棄地解消月間」とし、耕作放棄地の解消に向け、関係機関と連携し、重点的に啓発活動を展開していきます。

市では「印西市遊休農地再生対策協議会」と連携し、耕作放棄地の再生利用を促進するため「耕作放棄地再生利用緊急対策」に取り組んでいます。

耕作放棄地再生利用 緊急対策交付金

引き受け手(農業者など)が行う耕作放棄地の再生や、土づくりなどの取り組みを支援します。

①再生利用活動に対する助

氏の出生地である印西への記念として、生前制作に取り組み、平成3年2月に、ご遺族より市に寄贈されました。

この鐘は、日本恒久平和の象徴「広島平和の鐘」と同じ鐘で、鐘の正面には故吉田茂首相の筆による「平和」の2文字が刻ま

れ、撞座の左右には瑞鳥が描かれています。 ※平和の鐘は市役所1階ロビーに常設展示しています。 図総務課総務法規班(☎内436・437)。

成

◆再生作業(障害物除去・土づくり) ●定額支援:10アール当たり75,000円。

②施設等補完整備に関する助成

◆小規模基盤整備 ●定額支援:10アール当たり25,000円。

※①②の交付金は、原則、農業振興地域内の農用地が対象となります。また、そのほか諸条件があります。 詳しくは、左記までお問い合わせください。

☎農政課振興班(☎内線374)。

認知症予防に係る 研究協力者を募集

認知症予防に係る 研究協力者を募集

東京電機大学では、左記内容の研究事業にご協力いただける60歳以上の健常者20人を募集します。

事前説明会を開催しますので、興味がある人は、ぜひご参加ください。

●目的:適度な日常的身体活動が、認知症予防に効果的であることが知られています。

この事業では、どの程度の身体活動(種類、時間、強度)が、認知機能低下予防に効果的なのかを明らかにするために実施します。

●日常生活における身体活動について調査します。定期的に認知機能測定を実施します。また、栄養調査および健康体力に関する検診を行います。

これらの調査、測定にご協力いただくことにより、自身の身体活動習慣、認知機能レベル、栄養度、体力などの結果を確認

することができ、 ●協力期間:8月27日(月)～平成25年3月31日(日)。

●説明会 8月20日(月)・午前11時～正午 東京電機大学千葉ニュータウンキャンパス(福田記念国際交流センター1階V room)。

市内に居住する健康な60歳以上で、特定健康診査または75歳以上健康診査を受診している人 ※「健康診査結果のコピー」の提出が必要。 定20人。

8月10日(金)(必着)までに、メールに住所・氏名・電話番号・生年月日・年齢・身長・体重を記入し左記へ(先着順)。 東京電機大学未来科学部人間科学系 木村(〒270-1138 印西市武西学園台2-1-200) kimura@cck.ndai.ac.jp)。

シリーズ・心の道標⑦

最近のうつ病診断について

☎社会福祉課障害福祉班(☎内線268)

うつ病の診断は、医療機関において、医師との面談や心理検査、血液検査、脳波・CT検査などの結果を踏まえて診断されることが一般的です。

最近では、光トポグラフィー(NIRS)検査も用いて診断する方法もとられているようです。

光トポグラフィー検査は、脳の血流変化を測定する検査です。この血流量を検査することで、脳の働きを知ることができます。ただし、この結果のみで、「うつ病」を診断するのではなく、ほかの検査結果など多くの情報をもとに「うつ病」を総合的に判断します。

厚生労働省では、この光トポグラフィーを取り入れている医療機関を下記ホームページでご案内をしています。

【先進医療を実施している医療機関】

☎ http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kikan02.html

市では、社会福祉課障害福祉班で保健師・精神保健福祉士が、精神的な悩みに関する相談に応じます。